

## アトピー性皮膚炎に対する高純度軟化水の皮膚保湿効果

田中あかね<sup>1)</sup>、高井政貴<sup>2)</sup>、吉成佑治<sup>2)</sup>、松田浩珍<sup>1)</sup>

(東京農工大学大学院<sup>1)</sup>、三浦工業株式会社<sup>2)</sup>)

**【目的】**アトピー性皮膚炎(AD)におけるスキンケアは、皮膚バリア機能を改善し治療効果を高める上で大変重要である。皮膚の洗浄に使用される石鹼は、水道水中の2価金属イオンと反応して金属石鹼を形成し皮膚に吸着残留するため、皮膚炎悪化の一因となる可能性がある。本研究では、2価金属イオンを取り除いた高純度軟化水(UPSW)を用いて、AD患者の皮膚に対するUPSW入浴の効果調べた。さらにADモデルマウスを用いてかゆみや皮膚保湿性に及ぼす影響を評価した。**【方法】**金属石鹼の残留は、ヒトボランティアの腕の角層から、ガスクロマトグラフィーで定量化した。皮膚科医によって軽症と診断されたAD患者18名を対象に、UPSWで4週間入浴を持続し、この間臨床所見の評価と角層水分量、経表皮水分蒸散量(TEWL)の測定を行った。また、UPSW洗浄したNC/Ngaマウスの搔爬行動とTEWLを評価した。**【結果】**UPSWで洗浄した皮膚では、水道水と比べ有意に短時間で石鹼が消失した。UPSWで入浴したAD患者の皮膚では、角層水分量が増加し、TEWLが減少し、臨床所見が有意に改善した。さらにUPSWで洗浄したNC/Ngaマウスでは、水道水と比べ搔爬行動とTEWLが減少した。**【結論】**UPSWによる皮膚の洗浄は、保湿性を向上させ、乾燥や痒みなどの臨床症状を軽減したことから、成人のみならず小児においても有用であると考えられた。